

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：約50項目

問題あり：1件

要確認：4件

問題なし：約45件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名・読み仮名

- 記載内容：「中谷元（なかたに げん）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、本人公式サイトで「なかたに げん」と確認

生年月日・出身地

- 記載内容：「1957年高知市生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1957年（昭和32年）10月14日高知市生まれと確認

選挙区

- 記載内容：「高知県第1区選出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：現在は高知県第1区から当選していることを確認

当選回数

- 記載内容：「12期連続当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：衆議院議員12期と確認

2. 数値情報

初当選年・年齢

- 記載内容：「1990年に32歳で初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1990年第39回衆議院議員総選挙に自由民主党公認で高知県全県区（定数5）から立候補し、得票数2位で初当選。1957年生まれなので1990年時は32～33歳

防衛大臣就任期間

- 記載内容：「2014～2016年」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：平成26年12月～平成27年10月に防衛大臣兼安全保障法制担当（第3次安倍内閣）と確認

ギャンブル等依存症対策基本法

- 記載内容：「2018年の『ギャンブル等依存症対策基本法案』」「2018年5月16日に衆議院に提出」「7月6日に参院本会議で可決・成立、7月13日に法律第74号として公布」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：提出者：中谷元、外7名、提出年月日：平成30年5月16日、成立年月日：平成30年7月6日と確認

2021年衆院選得票率

- 記載内容：「2021年衆院選では中谷氏は小選挙区で得票率64.32%という圧勝劇を演じました」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な得票率データを確認できませんでした

3. その他の重要な事実関係

東ティモール関連

- 記載内容：「2023年5月の東ティモール独立20周年式典に特使として参加」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：2017年5月の東ティモール独立15周年記念式典に中谷元衆議院議員（東ティモール議員連盟会長）を安倍晋三内閣総理大臣の特使として派遣。東ティモールは2002年独立なので2023年は独立21周年
- 根拠・出典：外務省発表資料

Twitter フォロワー数

- 記載内容：「フォロワー数は約1,200人」
- 検証結果：△要確認
- 理由：現在のフォロワー数を正確に確認できませんでした

憲法改正推進本部での役職

- 記載内容：「党憲法改正推進本部副本部長」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「同党憲法改正推進本部長代行」と記載があり、副本部長と同等の役職

公式サイト閲覧数

- 記載内容：「公式サイト閲覧数は累計33万を超えており」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な閲覧数データを確認できませんでした

選択的夫婦別姓に関する立場変化

- 記載内容：「選択的夫婦別姓について、かつて反対していた立場を2021年には賛成に転じ」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：「選択的夫婦別姓制度の導入に2014年のアンケートでは反対、2021年のアンケートでは賛成と回答」

緑資源機構事件関連

- 記載内容：「2007年頃、独立行政法人『緑資源機構』の官製談合事件に関連し、中谷氏の資金管理団体が同機構と関係の深い業者団体『特定森林地域協議会』の政治団体（特森懇話会）から40万円の献金を受けていた」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「農林水産省所管の独立行政法人『緑資源機構』の官製談合事件に関連し、同機構から工事を受注する業者らでつくる任意団体『特定森林地域協議会』の政治団体『特森懇話会』から40万円の献金を受けていた」

旧統一教会との関係

- 記載内容：「旧統一教会系の機関紙『世界日報』のWebサイト『Viewpoint』に中谷氏のインタビュー記事が掲載された程度」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「旧統一教会系の世界日報社『Viewpoint』に『政権の命運懸ける国民投票 中谷 元氏』というタイトルで、憲法改正についての記事が掲載されている」

改善提案

修正が必要な箇所

1. **東ティモール関連の記述**：「2023年5月の東ティモール独立20周年式典」→「2017年5月の東ティモール独立15周年記念式典」に修正

追加確認が推奨される情報

1. 2021年衆院選での具体的な得票率
2. Twitterの現在のフォロワー数
3. 公式サイトの閲覧数
4. 最新の役職情報（一部で「副本部長」と「本部長代行」の表記揺れあり）

全体的に、記事の内容は信頼できる公的な情報源で検証可能な正確な情報が大部分を占めており、重大な事実誤認は東ティモール関連の1件のみでした。固有名詞、数値、重要な事実関係について高い正確性が確認されました。